



竹の子通信

令和6年1月号

香川県立多度津高等学校定時制課程

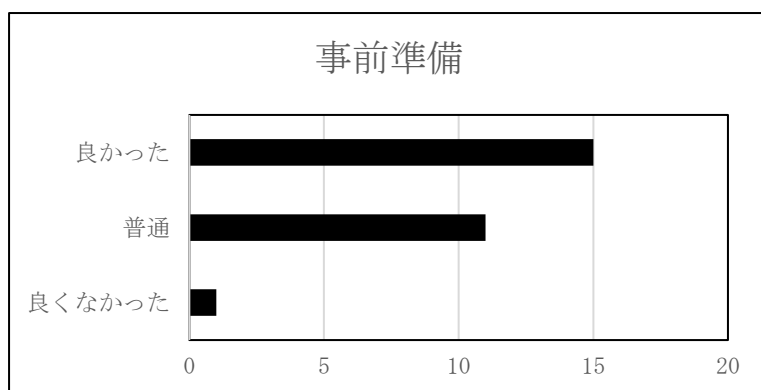


多高定時制の皆さんこんにちは。竹の子通信1月号は「アンケート結果特別号」と題して、多高祭、授業評価、学校評価保護者の三つのアンケート結果についてお伝えします。

1. 多高祭アンケート

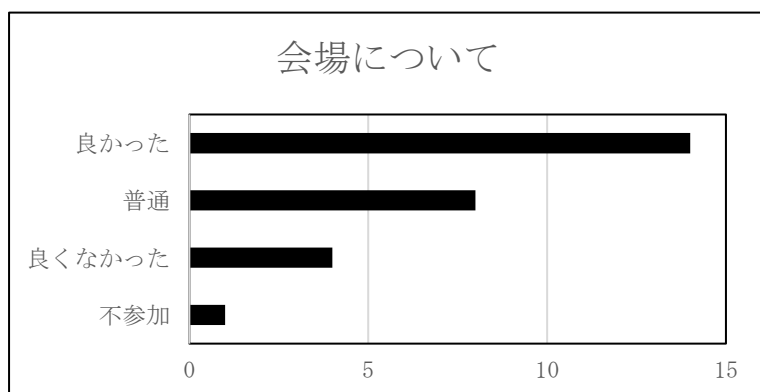
☆多高祭アンケートは生徒と教員が対象で、回収率84.4%です。

①事前の準備に関して（多高祭1週間前の準備期間に関する質問です）



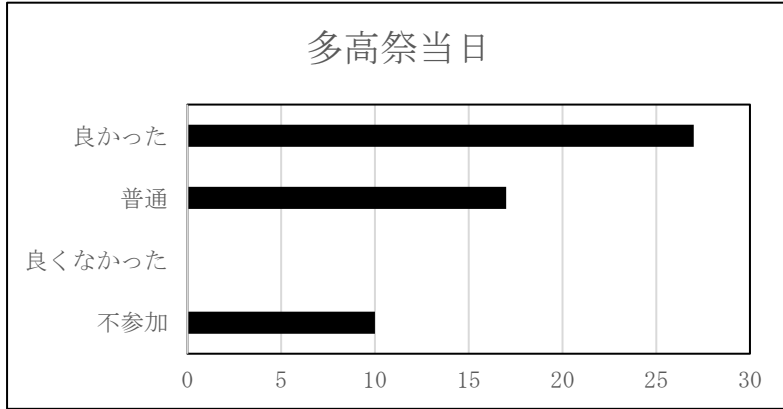
生徒からは「国旗作りが大変だった」「もう少し早くから作業をしたかった」「もう少し具体的な情報が欲しい」「先生方によって、作業への取組に差がある」などの意見が出されました。教員からは、「例年通りではなく、その年その年に応じた作業をすればよい」「生徒は頑張ってくれた」などの意見が出されました。準備期間の延長は、授業時間の確保の観点から難しいところがありますが、生徒と情報を共有し、的確な指導をすることで作業効率を上げていきたいと考えています。

②会場に関して（会場設営、場所、展示に関する質問です）



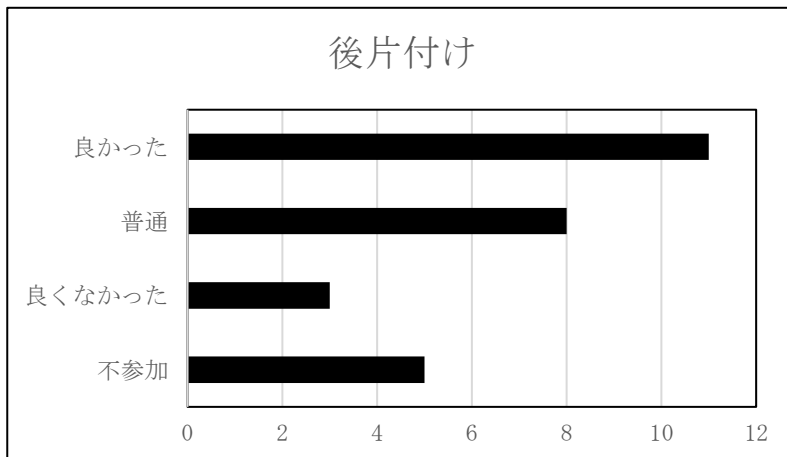
生徒からは「設営をもっと素早くしたい」「人通りが多い場所で展示したい」「展示する作品数を増やしたい」「先生方によって、作業への取組に差がある」などの意見が出されました。教員からも、展示場所と展示した作品に関して同様の意見が出されました。場所の配置に関しては全体のなかでのことなので一朝一夕にはいきませんが、改善できるところから取り組んでまいります。

③多高祭当日について（多高祭当日に関する質問です。2日間合算して集計しています。）



生徒からは「もっと飾り付けを華やかにしたかった」「全日制の展示を見て、グッズも買えて楽しかった」「たくさんの方が見に来てくれて嬉しかった」「ずっと定時制の部屋にいたので楽しめなかった」などの意見が出されました。教員からは「生徒は楽しんでいたので良かった」「生徒のローテを組み、生徒全員が展示を見に行けるように工夫したい」「もの作り教室のような体験コーナーがあれば良かった」などの意見が出されました。多高祭は全定交流の貴重な場なので、全員の生徒が全ての展示を見ることができるよう工夫していきます。また、「多高生の一日」は保護者からも中学生からも好評であったので、多高定時制の名物展示に育てていきたいと考えています。

④後片付けについて（多高祭2日目の後片付けに関する質問です。）



「素早く片付けができて良かった」「先生の話聞いていない人がいた」などの意見が出されました。教員からも「段取りよくスピーディに片付けができた」「指揮者の話を聞けていない者が見受けられた」と、生徒と全く同じ意見が出されました。集団行動の原則である、“指揮者の指導の下、意思統一が成された行動を取る”が徹底できるように、指導してまいります。

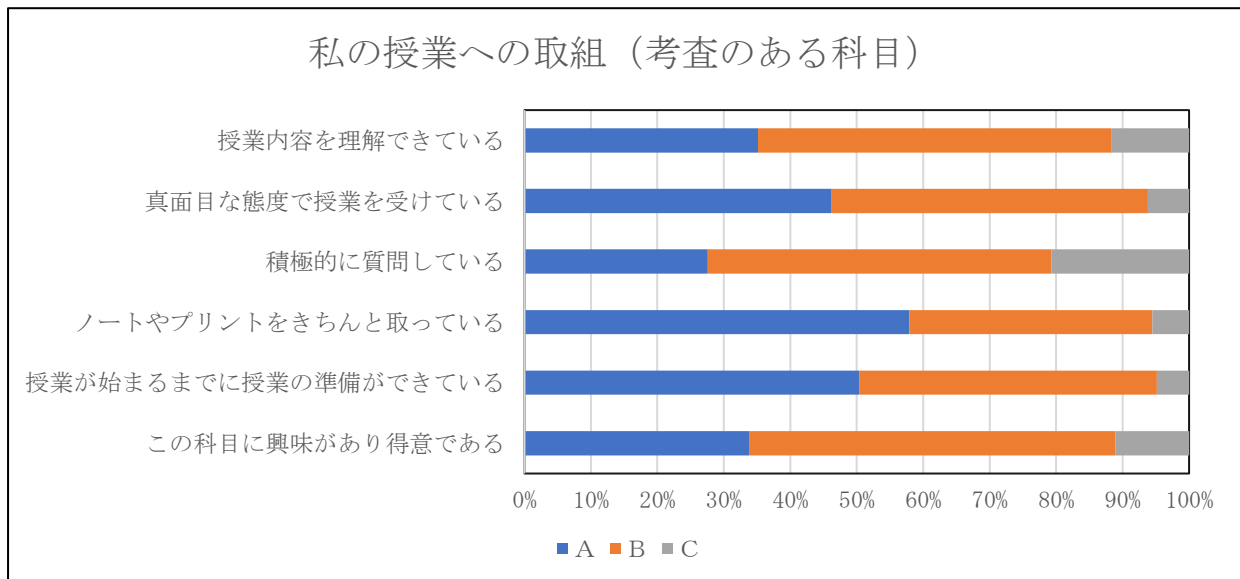
最後に、多高祭は生徒が主役。できるだけ「生徒が展示したい物を展示する」多高祭にしたいと考えています。そのためにも、日々の学校生活、特に授業を大切にして、具体的な提案ができるように成長してください。

準備から当日まで、お世話になりました。本当にありがとう！！

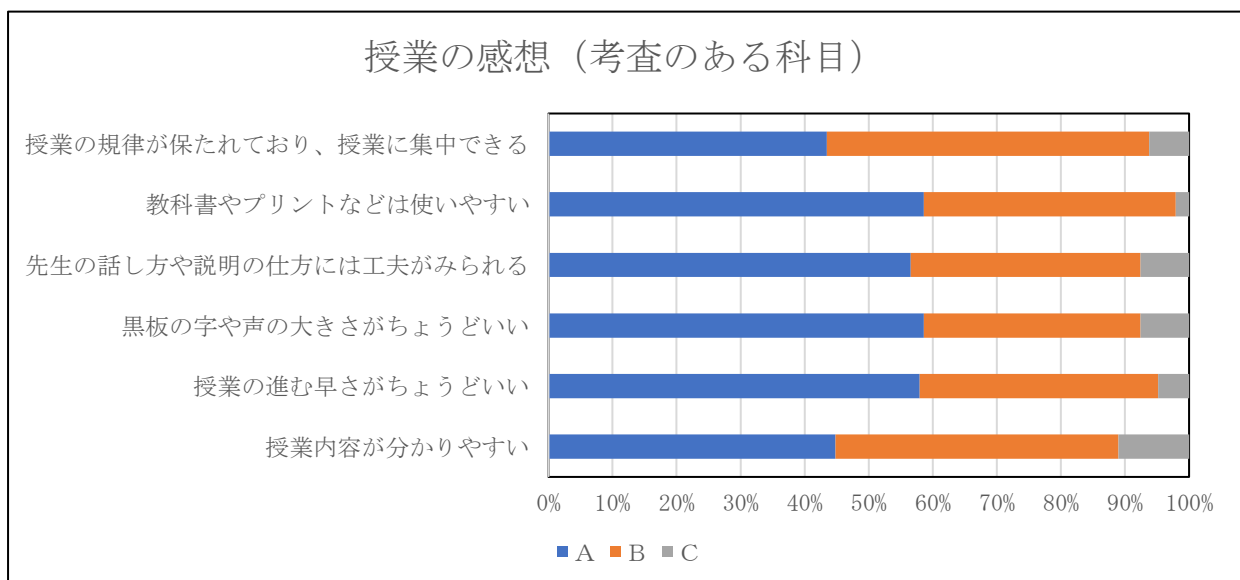
2.授業評価アンケート（12月）

☆12月に実施した生徒対象のアンケートで、回収率100.0%です。

☆グラフは、左から順にA→B→Cとなっています。

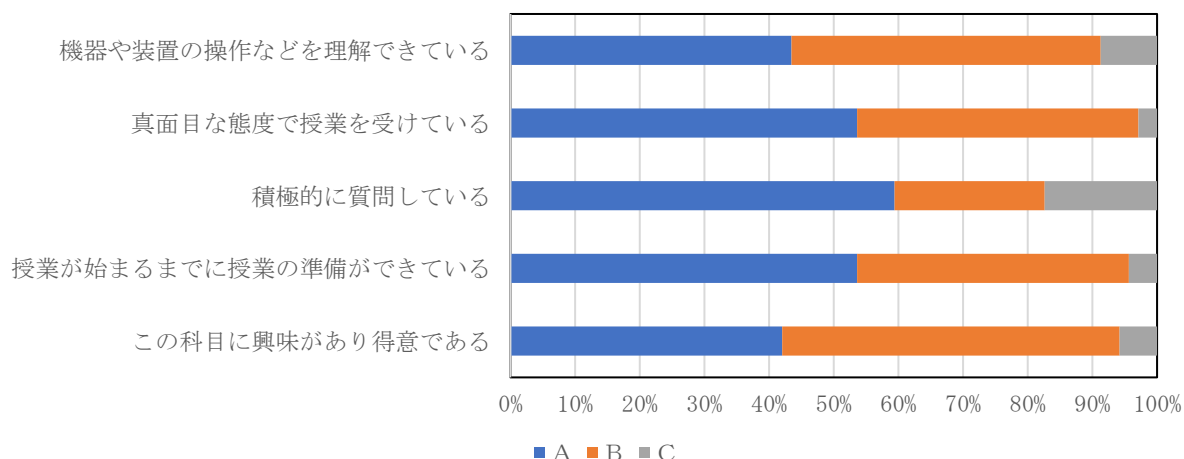


最初は考査のある科目への取組状況です。昨年12月と比べると、「積極的に質問している」以外の項目ではAが増加しています。非常に喜ばしい結果です。しかし現代社会では、『主体的・対話的で深い学び』が求められています。積極的に質問して、学びの質を改善してください。試験範囲は大半の人が「適切」と回答し、「これからも頑張る」「もっと英単語を覚えたい」など前向きな姿勢を示してくれました。皆さんの勉強への姿勢を大切にして、我々も授業準備を進めていきます。



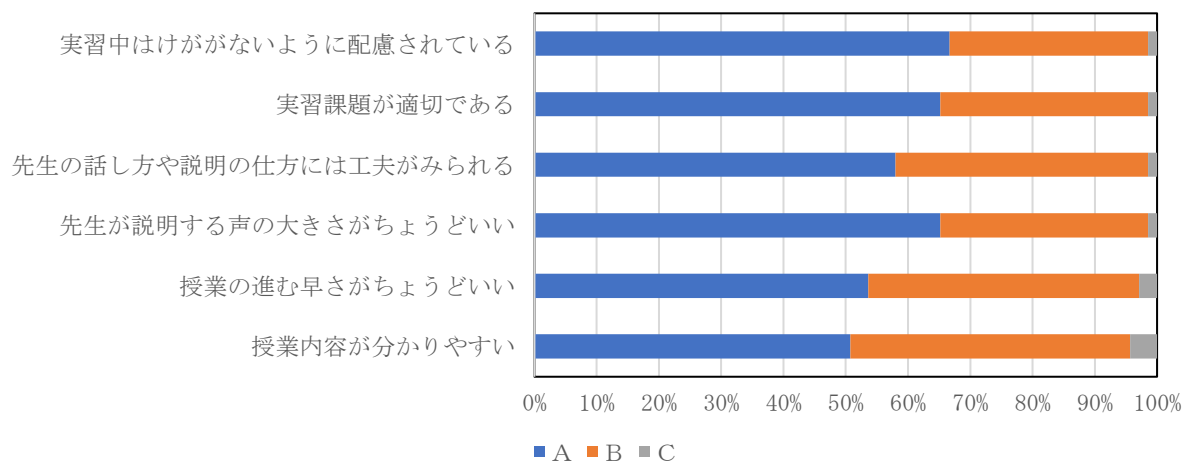
次は考査のある科目の授業への感想です。全項目でAの割合が増えましたが、全項目でCの割合も増加してしまいました。「プリントの内容が分かりやすい」「授業進度が適切なので、理解しやすい」「様々な質問に優しく答えてくれる」など高評価の記述をたくさん貰うことができました。しかしその一方で、「同じ箇所の説明ばかりしている」「試験範囲や配点に??なことがあった」「もっと分かり易く説明して欲しい」など厳しい意見も寄せてくれました。良い点も悪い点も先生方で共有し、授業改善に繋げていきます。

私の授業への取組（考査のない科目）



3番目は、考査を実施しない科目への取組状況です。「この科目に興味があり得意である」以外の項目でAが増加しています。その反面、全ての項目でCが増加しています。自分を厳しく評価していると受け取りました。ただ、考査のない科目は実習系の科目です。多高定時制は実習系の授業での学びをととても大切にしています。なので、「この科目に興味があり得意である」でAの比率が下がったことはとても残念に思います。先生方も皆さんに『興味・関心』を抱き、『実習が得意と』と胸を張って言ってもらえるように頑張っていきます。

授業への感想（考査のない科目）



最後に考査のない科目の授業への感想です。若干ではありますが、「授業内容が分かりやすい」のAが減少してしまいました。皆さんからの意見は「説明が丁寧で分かり易い」「検定に向けて自信が持てた」「楽しく取り組んでいる」などが多かったですが、Aの割合が減少していることを重く受け止めて、改善策を考えていこうと思います。また、「実習中は怪我がないように配慮されている」がこの設問の中で一番Aの割合が高かったことに安堵しています。実習や実技で安全であることは当たり前。この当たり前の状況を維持していきます。

授業評価は、皆さんの声を直接先生方に届けることができる重要な機会です。皆さんがさらに真摯な態度で授業評価アンケートに取り組み、一緒に授業改善してくれることを希望します。

3.学校評価保護者アンケート

☆冬休みに実施した保護者対象のアンケートで、回収率は91.3%です。

☆グラフは左から順に、4→3→2→1→0となっています。

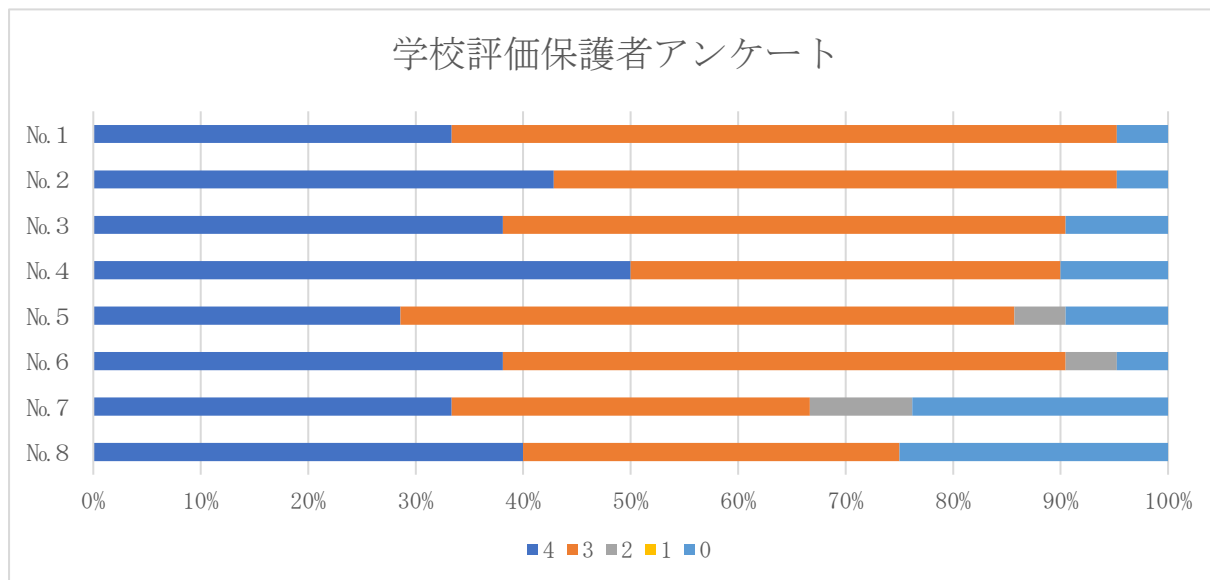
質問項目

- No.1 多高は教育方針に沿った教育を行っている
- No.2 多高は生徒の進路希望を実現するよう適切な進路指導を行っている
- No.3 多高はしっかりした生徒指導を行っている
- No.4 多高は授業や課外・補習等で生徒の力を付ける指導を行っている
- No.5 多高は保護者への情報発信ができています
- No.6 多高は生徒および保護者からの教育相談に対応している
- No.7 多高は保護者など外部の意見を聞き、改善しようとしている
- No.8 多高は安心・安全な学校生活のため、いじめ根絶に努めている

回答

4:よくあてはまる 3:あてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

0:よくわからない



○今回、1（まったくあてはまらない）が付いた項目はありませんでした。

○どの項目にも0（よくわからない）があります。No.5の評価にも、その点がよく現れています。情報発信の仕方を考えていきたいと思えます。

○4（よくあてはまる）の割合が最も高かったのはNo.4でした。始業前に登校し、各種検定に向けて指導しているところを評価していただけたのでしょうか。それがNo.2の評価に繋がっているのであれば幸いです。

○教育相談に関しては、年間を通じてスクールカウンセラーの長谷川先生との面談を実施しています。「何かあってから」の面談ではなく、「何もないときだから」の面談で安心・安全な学校生活を送れるようにしたいと考えています。保護者の方の相談もOKなので、希望される方は担任か教頭にご連絡ください。教育相談担当がスクールカウンセラーと調整して、連絡します。

保護者の皆様の授業見学は、考査期間中以外は原則としていつでもOKです。授業を見ていただき、ご意見をいただければ幸いです。また、来年度も公開授業週間を設定する予定です。都合の良いときに、是非授業を見に来てください。

今後も、ご指導ご鞭撻をお願いします。